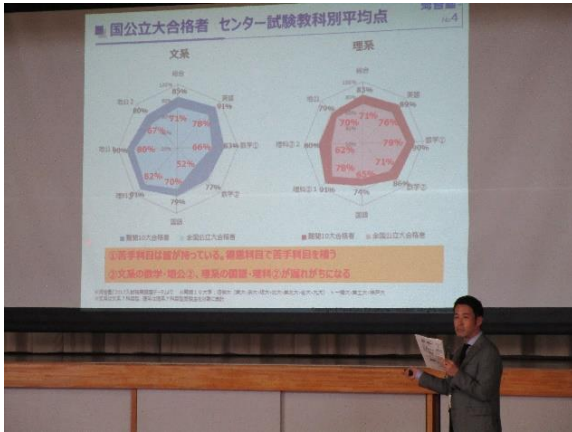


平成30年度 高2生対象 進学講演会



【日時】 平成30年5月14日(月)
15:20 ~ 16:10

【場所】 本校体育館

【講師】 河合塾 高瀬 英幸 氏

【演題】 進路実現に向けて

【概要】

長年に渡って受験生を指導されてきた経験をもとに、「大学入試の現状」や「受験生の心構え」など、資料を用いながら熱心に話していただきました。

1 大学入試の現状（主要大学の入試結果をもとに）

- (1) 受験勉強はムダではない！ 受験に必要とされる膨大な量の学習を通して「①視野が広がる→②可能性が広がる→③自分のやりたいことが見つかる」ことを覚えておこう。
- (2) センター試験は得点率の平均が60%となるように作られており、国公立大学を目指す上で、地方拠点大学レベルは65%以上、地域拠点大学レベルは75%以上、旧帝大レベルは80%以上得点することが必要とされている。
- (3) 国公立大学合格者と不合格者のセンター試験教科別平均点を比べると、文系では数学②と地歴公民②に差がみられ、理系では国語と理科②に差がみられる。最難関大学では理科②に差がみられる。得点率の低い科目（苦手科目）の早期克服が鍵である。
- (4) 全統模試受験者の「名大合格者」平均点から、今後受験する全統模試に対して目標値を設定し、有効利用してもらいたい。マーク模試では75%以上、記述模試では偏差値60~65が目安である。

2 受験生の心構え

- (1) 高校2年生の秋にスタートを切れるかが鍵！
- (2) 部活動と両立できないのは言い訳。大切なのは計画性をもって学習に臨む態度！
- (3) 計画したことは「紙に書いて、毎日目にする場所に貼る」ただし、無理な計画はNG。
- (4) 今は「学習歴社会」であり、どこで、何を、どのように学び、経験したかが重要。

【目標とすべきこと】

- 1 毎日机に向かうクセを身につける！
- 2 基礎学力を確実なものにする！
- 3 苦手分野や苦手科目を早めに克服する！

